

- 平成9年1月1日から平成27年12月31日まで岡山大学病院 肝・胆・膵外科において肝移植術（小児）を受けられた方へ -

「小児肝移植術における当院の治療成績の検討」へご協力のお願い

研究機関名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院		
研究機関の長	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	研究科長	那須 保友
	岡山大学病院	病院長	槇野 博史
研究責任者	岡山大学病院 肝・胆・膵外科	教授	八木孝仁

1. 研究の概要（研究の目的及び意義）

当院では1996年より生体肝移植術を開始し、これまで約20年間で約60例の小児肝移植術を行ってきました。小児肝移植対象患者は、疾患が多岐に渡り、これまでその予後は明らかではありませんでした。この研究は、1997年1月から2015年12月の間に岡山大学病院肝・胆・膵外科で肝移植術を受けた小児患者さまを対象として、長期予後、その予後に与える因子を調べることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成9年1月1日から平成27年12月31日まで岡山大学病院 肝・胆・膵外科において肝移植術（小児）を受けられた方約60人を対象とします。

2) 研究期間

平成28年11月25日 ～ 平成32年11月30日

3) 研究方法

1997年1月から2015年12月の間に岡山大学病院肝・胆・膵外科で肝移植術を受けた小児患者様を対象として、長期予後、その予後に与える影響を調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、拒否機会期限終了後、連結不可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法

本研究に使用した情報は研究終了後5年間保存させていただきます。保存期間終了後は電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 情報の保護

本研究に使用する情報は岡山大学病院東6病棟 データ整理室内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】

連結不可能匿名化されている為

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 肝・胆・膵外科 医員 高木 弘誠
電話：086-235-7257